



公明党議員団
三宅 智加子 議員



大牟田市の宝を生かした
まちづくりについて
～観光基本計画の改訂～

問 次期の観光基本計画策定に当たって、基本的な考え方を聞きたい。

答 現在の計画の検証を行った上で、おおむたアリーナや動物園飼育施設の整備、宿泊

施設の開業など、交流人口増に資する環境が充実してきた状況を踏まえ、次期計画の策定を進めていく。

デジタル時代の教育について
～生成AIの利活用～

問 教育現場での生成AIの活用状況を聞きたい。

答 児童生徒が書いた文章を添削させたり、体育での児童生徒の体の動かし方を撮影してAIに評価をさせ、改善点を見いだしたりするなど、個別最適な学習を進めるための

ツールとして、試行的に活用している。

核兵器のない
平和な世界について
～非核三原則～

問 市長の非核三原則についての見解を聞きたい。

答 核兵器のない世界が一日も早く実現することを強く願い、核戦争の惨禍を二度と繰り返してはならないと本市の核兵器廃絶平和都市宣言にうたった理念を、次の世代にもしっかりと引き継いでいく取組を進めていきたい。



自由民主党市議団
山口 雅夫 議員



新庁舎整備事業

問 総事業費を抑制するために検討した内容や、実際に採用する予定の取組内容は。

答 DX化やペーパーレス化の徹底による文書量の削減や、会議スペースの兼用化等によ

る、床面積の削減に取り組んでいる。基本計画、基本設計の支援事業者からは、床面積を20%削減、階高を10%縮減できる内容が提案されている。

問 ワンストップ窓口はどのような方針で検討しているか。

答 移動負担の軽減と待ち時間削減に向け、書かない窓口の導入など、DX化で手続の簡素化を図り、来庁者が最低限の移動で各種手続を完結できるように、関連する窓口を低層階に集約し、極力ワンフロアでサービスを提供する。

問 新庁舎整備事業は、本市の将来にとって、どのような意義を持つ事業と位置づけ、市民にどのような価値を提供する庁舎を目指しているのか。

答 単に老朽化した施設の建て替えではなく、次世代の安心・安全を確保し、まちづくりにつながる事業と認識しており、防災中枢拠点を構築することは極めて重要と考える。

必要な機能には重点的な投資を行い、将来にわたり質の高い行政サービスを実現できる庁舎としたい。



民主・護憲クラブ
船原 基近 議員



子育て世代に魅力的な
まちづくりについて

問 小・中学校体育館への空調設備設置のスケジュールや事業費の規模を聞きたい。

答 令和10年11月頃には全ての設置工事を終了する予定であり、事業費は約8億6,000万

円を予定している。

問 リースという方策も考えられるのではないかと。

答 試算すると設置工事のほうが若干割安となる。

問 不登校児童生徒の健康診断未受診者への対応は。

答 本年度から、内科健診の聴診を実施することとした。

問 内科の聴診だけでは不十分ではないか。市長の考えは。

答 聴診のみでは十分とは考えておらず、受診状況を検証し、今後、検診内容の拡充に向け教育委員会と検討を行う。

若者が夢を持って働く
まちづくりについて

問 一般の市民が農業を実践するために必要な手続は。

答 農業委員会に営農計画書を提出し、その内容が認められる必要がある。その後、農地の確保が必要となる。

問 農業者支援等について、市長の思いを聞きたい。

答 若者、中高年層、Uターンされた方なども含めた幅広い担い手の確保につながる取組を進めていく。